



輝け、
カガクで。

Activate Your Life

決算補足説明資料

2025年12月期 第1四半期

 日華化学株式会社
東証スタンダード:4463 | 2025年5月1日

目次

01

2025年12月期第1四半期 決算概要

02

2025年12月期通期 業績・配当予想

03

Appendix

01

2025年12月期 第1四半期

決算概要

売上高は1Qとして過去最高、営業利益率向上(前年同期比)

化学品事業

増収・増益

売上高、セグメント利益額・率ともに過去最高

- EHD※関連製品売上比率増による利益率向上
- 主力の繊維化学品／中国中心に大手加工場の稼働好調が継続
- 半導体加工用クーラント剤回復途上

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

化粧品事業

増収・増益

- ODM事業好調
- デミ 新商品、注力商品販売堅調
- デミコリア ヘアケア・カラー製品販売増

2025年12月期第1四半期 連結決算概要

(百万円)	2024年12月期 1Q実績		2025年12月期 1Q実績		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	12,228	100%	13,195	100%	+966	+7.9%
■ 化学品事業	9,043	74.0%	9,730	73.7%	+687	+7.6%
■ 化粧品事業	3,130	25.6%	3,300	25.0%	+169	+5.4%
その他	53	0.4%	163	1.2%	+109	+204.0%
営業利益 (営業利益率)	588 (4.8%)	-	856 (6.5%)	-	+268	+45.6%
■ 化学品事業(セグメント利益)	821	77.5%	1,078	80.0%	+257	+31.3%
■ 化粧品事業(セグメント利益)	239	22.5%	262	19.4%	+22	+9.6%
その他	△4	-	8	1.0%	+13	-
消去等	△467	-	△493	-	△25	-
経常利益	766	-	804	-	+38	+5.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	318	-	292	-	△25	△8.0%

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル	中国元	ウォン	国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q予想	2Q予想
	152.92円(3.4%円安)	(2.1%円安)	(6.2%円高)		73,700円(+1.7%)	63,900円(△19.2%)

経営指標の概要

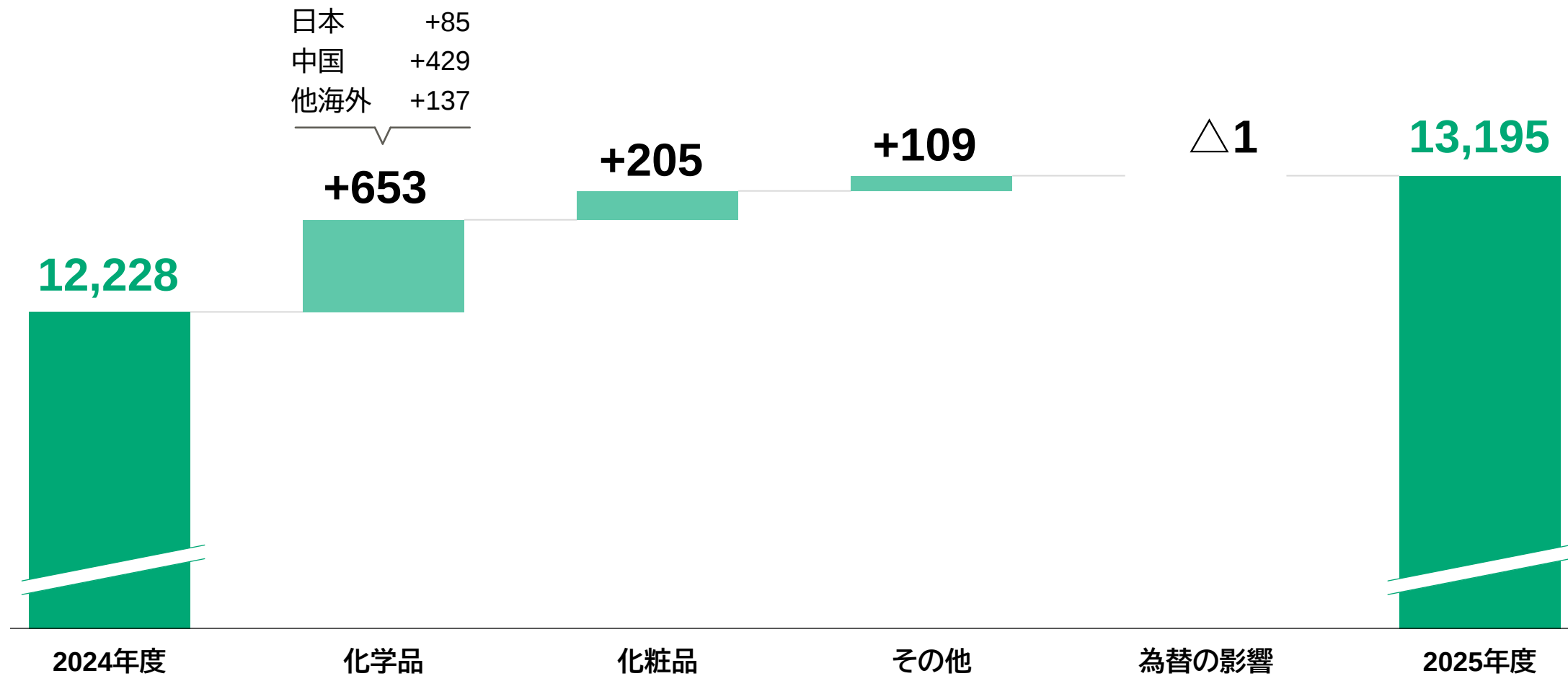
- ROA、ROIC、EBITDAは営業利益増加により向上、純利益減によりROEは減少
- 株価+38%(前年同期末比)によりPBRが向上

	2024年12月期 1Q実績	2025年12月期 1Q実績	増減額	増減率
(百万円)				
ROA	4.1%	5.5%	-	+1.5 pt
ROE	4.2%	3.6%	-	△0.6 pt
ROIC	4.1%	5.7%	-	+1.6 pt
PBR	0.50倍	0.62倍	-	+0.12 pt
EBITDA	1,124	1,379	+255	-
減価償却費	536	523	△12	-
年間配当(円)	52	60 (予定)		

連結売上高 増減要因

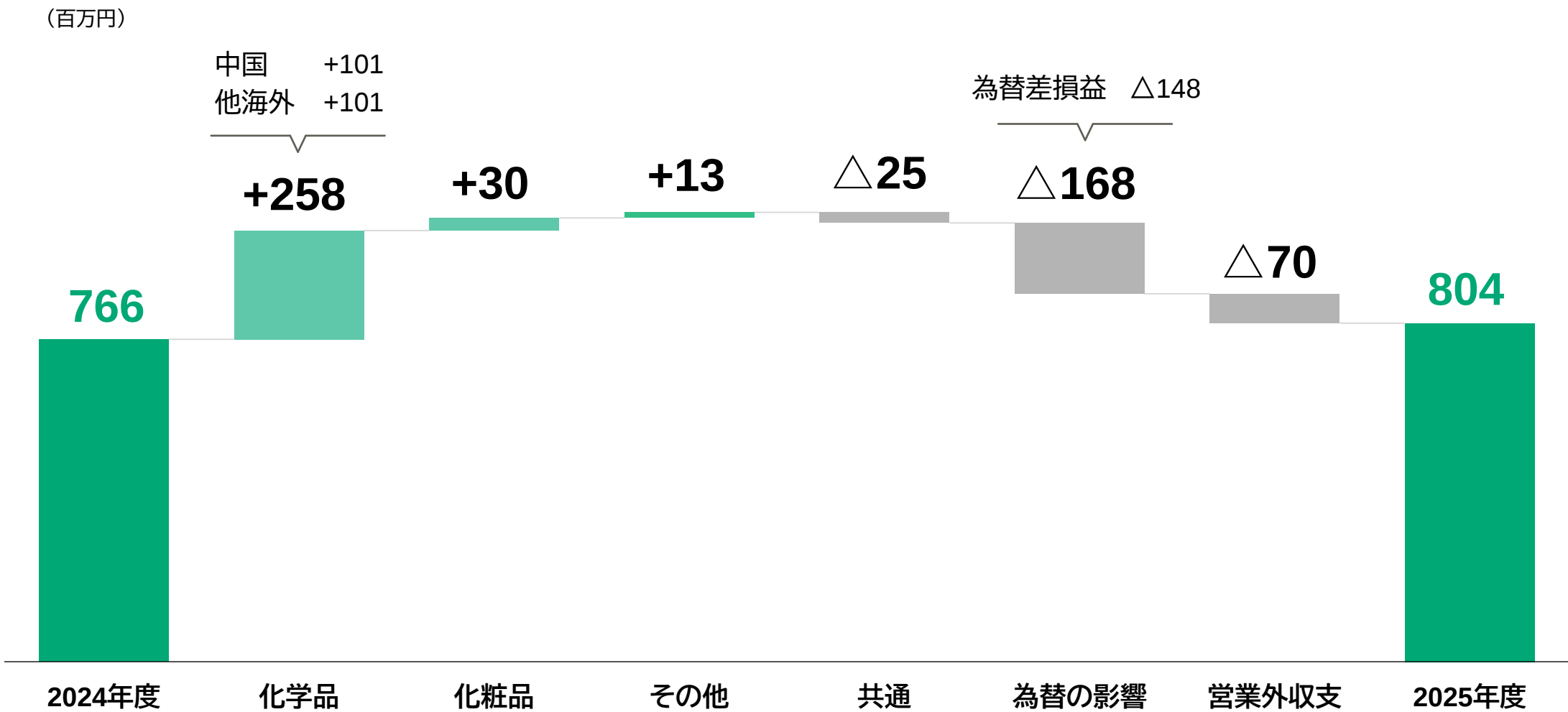
- 化学品事業 +6億円増収、国内増収、海外は中国を中心に増収
- 化粧品事業 +2億円増収、国内増収

(百万円)



連結経常利益 増減要因

- 化学品事業、化粧品事業共に増益となり営業利益は向上
- 期末に比べ円高となったことで営業外での為替差損が発生(前期は為替差益)



化学品事業

- 創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用
- 2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開



繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)

主要な 関係会社

- 大智化学産業株式会社(半導体産業向け)
- 日華化学(中国)有限公司
- NICCA KOREA CO., LTD. 他13社

化粧品事業

- 主力ブランド「DEMI」を中心とした、プロフェッショナル向け美容室専売品の研究開発
- お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさを追究



ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング

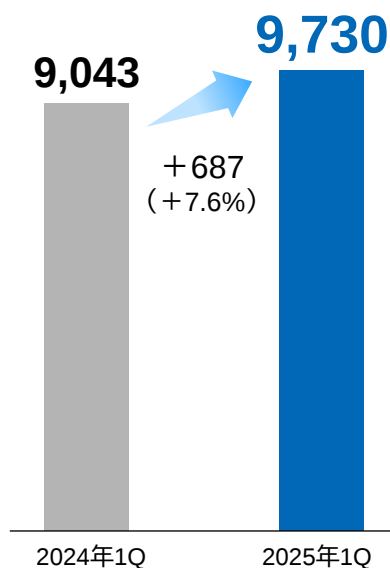
主要な 関係会社

- 山田製薬株式会社(化粧品OEM/ODM)
- イーラル株式会社
- DEMI KOREA CO., LTD. 他4社

- ・ EHD好調、中国・インド等伸長により、売上高、セグメント利益額・率ともに1Qでは過去最高

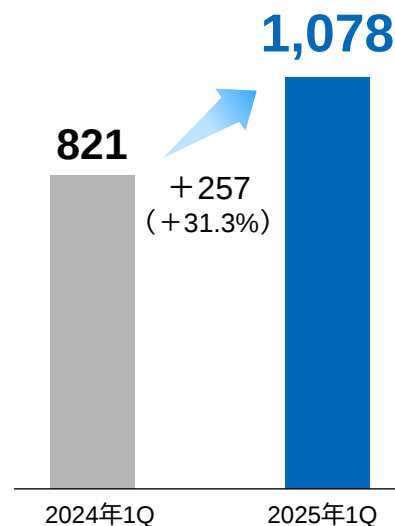
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

売上高

繊維化学品分野

- + EHD※関連製品販売 引き続き好調
フッ素フリー系撥水剤、環境負荷低減工程薬剤など
- + 中国中心に海外大手繊維加工場の高稼働が継続
- + インドビジネス成長

電子材料関係分野

- + 半導体加工用クーラント剤回復途上(前年1Q低調)
- + 日本以外での新規ビジネス増加傾向

セグメント利益

- + EHD※関連製品(高付加価値品)売上比率増

※ E(環境/Environment)、H(健康・衛生/Health)、D(デジタル、先端材料/Digital)向けの高付加価値製品

為替 ※期中平均 (カッコ内:前年同期比)	米ドル 152.92円 (3.4%円安)	中国元 (2.1%円安)	ウォン (6.2%円高)
国産ナフサ (カッコ内:前年同期比)	1Q予想 73,700円 (+1.7%)	2Q予想 63,900円 (△19.2%)	

施策	進捗状況（第1四半期）
成長・高収益事業への傾注 • EHDに紐づく新規ビジネス・新規エリアの獲得（EHD売上比率50%） • グループ一体となったグローバル拡販 • デジタル領域のグローバル展開と新規ビジネスの創出	• EHD関連製品売上高比率 1Qで45.2%（前年同期比+0.9pt） *EHD製品利益率 +10%〈従来製品比、24年12月期実績〉 • 新規ビジネス・エリア／新たな電子材料分野の取組開始、繊維加工薬剤でインド伸長 • グローバル拡販／フッ素フリー系撥水剤伸長継続 • デジタル領域グローバル展開／台湾、韓国中心に推進中
収益性向上 • 戦略的調達によるコストダウン（中国、インド、オレオ化学品） • マーケティング力とプライシング力の強化 • リスクマネジメント（為替、地政学）	• マーケティング力・プライシング力強化／一部価格改訂・原料代替取組中 • リスクマネジメント／トランプ関税による影響継続注視

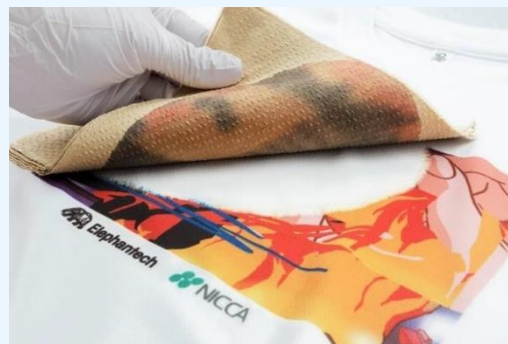


ポリエステルアップサイクル技術「ネオクロマト加工」が 「第55回繊維研合繊維賞 サステイナブル部門賞」を受賞

- 2025年3月、当社技術「ネオクロマト加工」が、「第55回繊維研合繊維賞」において「サステイナブル部門賞」を受賞
- ミマキエンジニアリングとのライセンス契約のもと、ロフトの店舗装飾用タペストリーを循環利用する試験運用が開始され、ユニークな技術で、社会実装が始まった点も評価(2024年11月開始)

ネオクロマト加工とは

- 分散染料にて染色・プリントされたポリエステル布地から、安全性の高い薬剤を用い、大掛かりな設備や水を使用せずに染料をほぼ完全に脱色できる革新的な技術
- 何度でも新たなプリントデザインが可能のため、アップサイクルによる地球資源の有効活用に貢献



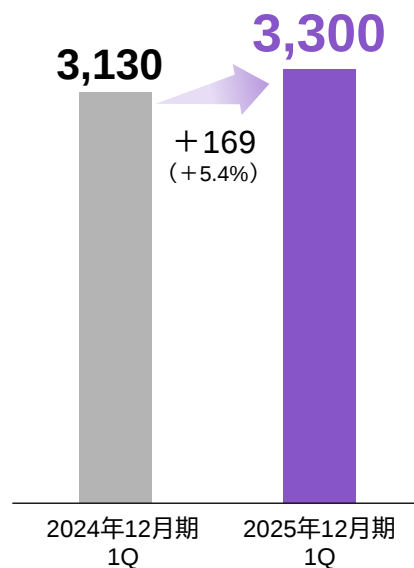
大阪万博出展概要

日 時	2025年10月3日(日)～ 10日(金)期間内
エリア	大阪・関西万博EXPOメッセ内 日本弁理士会主催「ビジネス/ 技術アイデアコンテスト」  日本弁理士会サイト
内 容	ネオクロマト加工 技術体験会・ワークショップ

- ・ ODM事業好調、新商品・注力商品販売堅調、韓国市場専用ヘアケア・カラー販売増により増収・増益

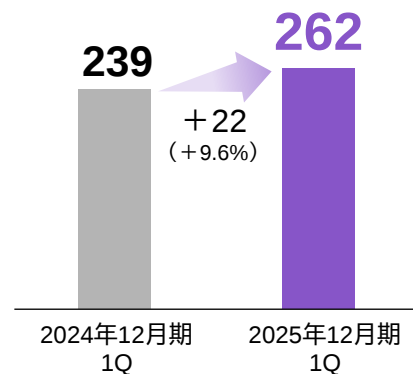
売上高

(百万円)



セグメント利益

(百万円)



主な増減要因

売上高

日華化学デミ コスメティクス (国内サロン向け)

- + 新商品、注力商品販売堅調

山田製薬 (国内ODM)

- + ODM事業好調 (既存大口ODM受注減も、新規ODM受注大幅増)

デミコリア

- + 韓国市場専用ヘアケア・カラー販売増加

セグメント利益

- + デミコリア販売カラーの韓国生産比率増等により粗利率向上
- 人件費増加

為替 ※期中平均 (カッコ内: 前年同期比)	米ドル 152.92円 (3.4%円安)	中国元 (2.1%円安)	ウォン (6.2%円高)
国産ナフサ (カッコ内: 前年同期比)	1Q予想 73,700円 (+1.7%)	2Q予想 63,900円 (△19.2%)	

施策	進捗状況(第1四半期)
優良サロンの獲得 ・営業人員増強によるサロンサポート強化 ・DEMI LABOを起点としたユーザー認知と顧客獲得	・営業人員増員、新規サロン獲得・既存サロン顧客内シェア拡大に向けた活動を強化 ・オウンドメディア「DEMI LABO」PV数 24/4Q比で+20% ・トライアルEC購入者数 前年同期比+43%
新商品によるサロン内シェアアップ ・新ブランド「サマーバー」、「DEMI DO」追加品	・ヘアケア／サマーバー 2品(2月発売)滑り出し順調、12品(4月発売)受注好調 ・ヘアカラー／トイロクション高機能性2剤 2品(4月発売)受注好調
デミコリア／店販を基軸にシェア拡大	・ヘアケア売上 +18%、カラー売上+5%(韓国経済後退の中、デミコリア健闘)
化粧品新工場建設開始	・予定通り進捗



デミ コスメティクスより、夏限定の新ブランド 「SUMMER BAR」(サマーバー)新発売

- ・ 猛暑が続く夏に提案する「クール」を追求したサマーブランド
- ・ 髪と肌両方に使用 & 紫外線をしっかりカットするUVケアと、新境地のクール感を体験できるヘアケアアイテム
- ・ 属性年代問わず、紫外線ダメージと夏のべたつきが気になるすべての方向け

UVケア 2品



2025年2月19日発売

- ・ SPF50+、PA++++、UV耐水性★★で紫外線をしっかりカット
- ・ 髪&肌両用、質感が選べるスプレーとミストタイプ
- ・ ヘアカラーをキレイに見せるブドウ種子エキス(保湿成分)配合

クールヘアケア 12品



2025年4月2日発売

- ・ ベタつき、ニオイをシャキッと洗い流すクールシャンプー
- ・ 新境地のクール感を体感できるトリートメント
- ・ 夏の頭皮と髪にうるおいをチャージ



化粧品新工場 投資資金のため シンジケートローン契約を締結

- 2025年5月1日、化粧品新工場建設にかかる資金調達を目的に、財務上の特約が付されたシンジケートローン契約を締結

■ 化粧品新工場 設備投資の概要

投資規模	約195億円	本格稼働	2027年
補助金上限額*1*2	49億 9,991万円(補助率1/3)	建設予定地	福井県福井市稲津町・荒木新保町

■ シンジケートローンの概要

金額	総額140億円（コミットメント期間付きタームローン120億円／タームローン20億円）		
アレンジャー	福井銀行	最終返済期日	2042年2月28日
参加金融機関	福井銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行		
備考	コミットメント期間付きタームローン／ 一定期間、借入限度額を上限に必要時に資金調達を行い、一定期間経過後は借入残額につき、 契約上の返済条件に従い長期弁済を行う形式の貸出形態		



- ※1 現時点での予定
補助金交付額は補助対象事業完了後の検査等結果により変動可能性あり
- ※2 補助事業名称: 中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金
対象経費: 建物、設備費、およびシステム購入費等
対象事業完了時期: 2026年12月



知財功労賞「特許庁長官表彰 知財活用企業（特許）」を受賞

- ・ 2025年3月、令和7年度「知財功労賞」において、「知的財産権制度活用優良企業（特許）」として特許庁長官表彰を受賞
- ・ 国内外において事業戦略に対応した細やかな知財ポートフォリオ構築を実践すると共に、オープンイノベーションの積極推進による知財を活用したビジネス創出など、知的財産制度を有効活用する企業として評価

4月18日表彰式の様子

主な受賞のポイント

1. 国内外客が自社技術を安心して利用できるよう、特許・商標を顧客の地域に幅広く出願。「グローバルニッチカンパニー」を標榜し、分野毎の戦略に合わせた知財ポートフォリオ構築を推進
2. 「ネオクロマト加工」、非フッ素系撥水剤「ネオシード」等、知財を活用したビジネスの創出・拡大を推進
3. 研究拠点「NICCA イノベーションセンター」を中心に、同業種間・異業種間の協業、産学官連携、社内研究部門間の共同研究を推進



知財功労賞とは

毎年4月18日「発明の日」に合わせ、知的財産権制度の発展、普及・啓発に貢献した個人や、制度を有効に活用して円滑な運営・発展に貢献する企業を表彰するもの。経済産業省、特許庁主催



社員報酬制度の拡充

- ・賃金上昇と採用競争の激化が進む中、2024年に引き続き、2025年も賃金アップを実施
- ・社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブの導入、具体的内容決定(自己株式の処分)

報酬制度改定

新卒初任給

1人当たり報酬

約**10%アップ**
(2024年比)

5%アップ
(2024年比)



社員向け譲渡制限付き株式インセンティブ制度導入

■ 制度の概要

対象	社員持株会に加入する当社グループの経営職層社員のうち、本制度に同意する者
目的	社員の資産形成の一助とすることに加え、当社の株主との一層の価値共有を目指すインセンティブを与えることで、当社経営職層社員の経営参画意識をより一層高め、当社の企業価値向上を図る

■ 自己株式処分の概要

期日	2025年7月28日	株式の種類及び数	当社普通株式 57,522株 ※1
価格	1,320円/株	総額	75.9百万円 ※2

※1 適用対象最大人数の当社社員239人に対して、譲渡制限付株式として付与するものと仮定して算出

※2 実際に処分する株式数・処分総額は本制度に同意する当社の社員等に応じて確定



IRサイト リニューアル

- 2025年2月13日、株主・投資家の皆さまにより当社について理解を深めていただくため、IRサイトをリニューアルいたしました。是非ご覧ください！

新コンテンツ

- 日華化学って、どんな会社？
- 実は身近なNICCAの技術
- 当社の強み
- 大切にしている言葉
- 経営陣の想い
- 中長期シナリオ・中期経営計画



日華化学株式会社 IR

IR サイト <https://www.nicca.co.jp/ir/>



日華化学って、どんな会社？



実は身近なNICCAの技術



当社の強み



大切にしている言葉



経営陣の想い



中長期シナリオ・中期経営計画



サステナビリティの取り組み



株主還元（配当・優待）



IRライブラリ・説明会

02

2025年12月期 通期

業績・配当予想

2025年12月期通期 連結業績予想

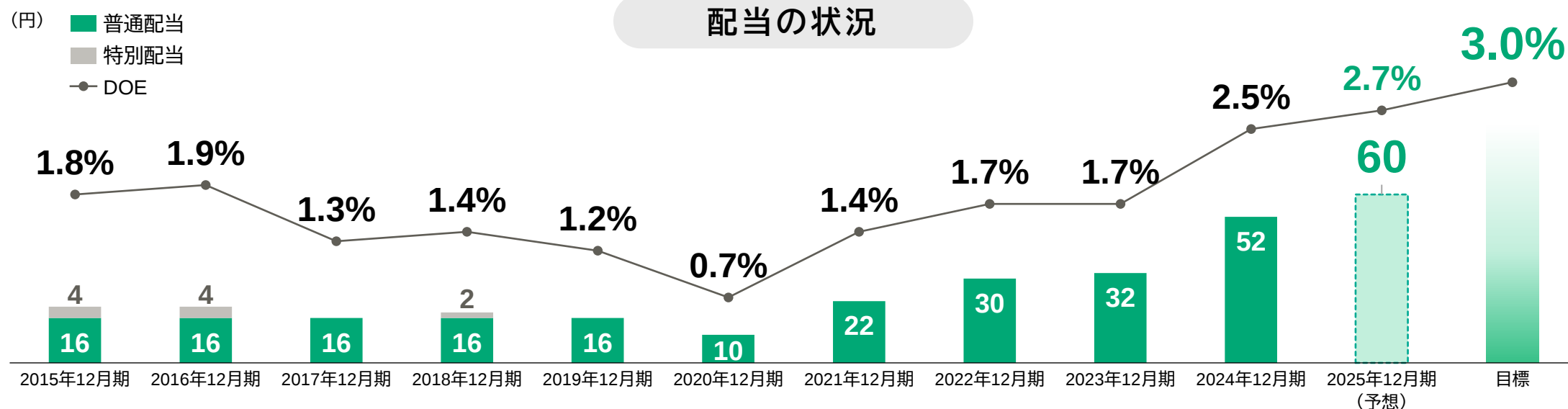
- ・ 米国による関税政策の影響が懸念されるものの、現時点では関税政策の行方は不透明で様々な影響を明確に予想することが困難であることから、連結業績予想の修正は行っておりません
- ・ 今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定

(百万円)	2024年12月期 実績		2025年12月期 予想		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	54,099	100%	57,000	100%	+2,901	+5.4%
■ 化学品事業	39,378	73%	41,500	73%	+2,122	+5.4%
■ 化粧品事業	14,271	26%	14,700	26%	+429	+3.0%
その他	449	1%	800	1%	+351	-
営業利益	3,519	-	3,600	-	+81	+2.3%
(営業利益率)	(6.5%)	-	(6.3%)	-		
■ 化学品事業(セグメント利益)	3,724	66%	3,770	66%	+46	+1.2%
■ 化粧品事業(セグメント利益)	1,822	33%	1,840	32%	+18	+1.0%
その他	58	1%	60	1%	+2	-
消去等	△2,085	-	△2,070	-	+15	-
経常利益	3,976	-	3,700	-	△276	△6.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,754	-	2,600	-	△154	△5.6%
為替	米ドル	国産ナフサ				
	150円		73,200円			

株主還元方針

- 2025年12月期通期配当予想は60円(前年同期比+8円)、DOE2.7%(同+0.3ポイント)で5期連続増配
早期のDOE3.0%を目指す

	変更前	変更後
基本方針	安定配当	安定配当 + 累進配当
目標水準	配当性向30%を目安	2~3年以内にDOE3%を目指し、 その後も高めることを継続検討



03

Appendix

会社概要

商 号	日華化学株式会社(証券コード 4463)
本 社	福井県福井市文京4丁目23-1
創 立	1941(昭和16)年9月15日
資 本 金	28億9,854万円
発行済株式数	1,771万株
決 算 期	12月31日
従 業 員 数	連結／1,526名 単体／612名(2025年3月31日現在)
事 業 内 容	繊維を主とする各種産業用界面活性剤 および化学品、化粧品等の製造・販売
上場証券取引所	東証スタンダード、名証プレミア



輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

日華化学株式会社 IR担当

 (0776)25-8584(直通)

 ir@niccachemical.com

この資料には、2025年5月1日時点の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。

経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。